関西国際空港 T1 リノベーション

2019.12.12

Shaping a New Journey

KANSAI AIRPORTS
背景
KIX国際線利用者（国籍）の推移

（比率）国際線日本人：国際線外国人+通過客
（比率）国内線：国際線

(年度)
T1の運営状況

計画取扱能力
国際線：12百万人
国内線：13百万人

計画と実態のギャップ

実績
国際線：20.6百万人
国内線：4.0百万人

当初計画容量
(T1 国内)

当初計画容量
(T1 国際)

実績
(T1 Int'l)

実績
(T1 Dom)


関西へのゲートウェイとして機能強化

KIX Terminal 1の再設計
KIX Terminal 1の再設計

基本コンセプト

・国際線キャパシティー拡大
・エアサイドエリアの充実
・旅客体験の向上
再設計で解決すべき課題と対応

課題
- 国際線出発エリアの混雑
- 国内線施設のキャパシティと利用実態の乖離
- 国際線手続き施設の南北分散
- 巨大地震への備え

対応
- ファストトラベルの推進
- 国際線/国内線エリア配置の見直し
- ランドサイド/エアサイド比率の見直し
- 国際諸施設の中央集約化
- 天井、エスカレータ等の耐震補強
- 商業エリアの充実
T1リノベーションの概要
出発までの快適な時間をより多く -ランドサイド/エアサイド滞在時間の変化-

<table>
<thead>
<tr>
<th>出発手続き</th>
<th>出国後</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>來港</td>
<td>搭乗</td>
</tr>
<tr>
<td>チェックイン</td>
<td>保安検査</td>
</tr>
<tr>
<td>出国審査</td>
<td>出発エリア</td>
</tr>
</tbody>
</table>

- 自動チェックイン
- 自動バゲージドロップ
- 保安検査場の集約
- スマートレーン
- 自動化ゲート

出発手続き

- 床面積の増加
- 商業エリアの再編成

ファストトラベルの導入、出発エリアの拡大により、お客様に快適な時間をより多く過ごしていただく事が狙い

※グラフは滞在時間のイメージです。
国際線/国内線エリア配置の見直し

駐機スポット数の比較

Before

国際線16 際内共用1 国内線7 際内共用1 国際線16

After

国際線10 際内共用4 国際線25

国際線
南北一体運用
可能なレイアウト

国際線ビル内面積
+ 25%

国際線使用可能スポット
+ 5 スポット
(34 ⇒ 39)
※国内使用可能スポットは変わらず
T1リノベーション後の際内構成

■ 現状

■ リノベーション後

保安検査場

出国審査場

入国審査場

国内線 保安検査場

国内線エリア

国際線出発エリア

国際到着バゲージクレームエリア

国内到着バゲージクレームエリア
国内線エリア
国内線保安検査場を1か所に集約しスマートレーンを導入

※本図はイメージであり、デザインは今後の設計によって具体化される予定です。
国内線エリアの充実

商業店舗大幅拡充・快適な空間を創出

※本図はイメージであり、デザインは今後の設計によって具体化される予定です。
T1リノベーション前後のレイアウト比較（4F）

リノベーション前4F

→ 国際線出発

国際線保安検査場を集約・拡張

リノベーション後4F

7~15m増床 国際線保安検査場 INTERNATIONAL SECURITY
4Fの保安検査場を集約・拡張

※本図はイメージであり、デザインは今後の設計によって具体化される予定です。
デザインは日本らしさ、関西らしさを考慮
22台のスマートレーンで、より速く、より快適に、ストレスなく、保安検査を通過

※本図はイメージであり、デザインは今後の設計によって具体化される予定です。
保安検査場から3Fの出国審査場へ

※本図はイメージであり、デザインは今後の設計によって具体化される予定です。
T1リノベーション前後のレイアウト比較（3F）

手続き施設の集約
3Fに出入国審査場及び国際線ラウンジを配置

※本図はイメージであり、デザインは今後の設計によって具体化される予定です。
出国審査場のイメージ

※本図はイメージであり、デザインは今後の設計によって具体化される予定です。
リノベーション前２F

リノベーション後２F

２F中央に国際線出発エリアを展開

→国際線出発
→国際線到着
→国内線出発
→→国内線到着
国際線出発エリア（中央部）の拡大

出国後のエリア +60%
現在の国際線出発エリア

現在、物販や飲食店舗は用途に応じて区分けられた配置
ウォークスルー型免税店を通過後、集約された商業区画を計画
国際線出発エリアを2Fに展開

出発エリアを4つの異なった雰囲気にゾーニング

※本図はイメージであり、デザインは今後の設計によって具体化される予定です。
異なる雰囲気の空間を提供（イメージ１）

「今日はどんな気分？」

※本図はイメージであり、デザインは今後の設計によって具体化される予定です。
異なる雰囲気の空間を提供（イメージ2）

より魅力的でワクワクする空港体験を提供

※本図はイメージであり、デザインは今後の設計によって具体化される予定です。
スケジュール等
## T1リノベーション 工事スケジュール

<table>
<thead>
<tr>
<th>曆年</th>
<th>2019年</th>
<th>2020年</th>
<th>2021年</th>
<th>2022年</th>
<th>2023年</th>
<th>2024年</th>
<th>2025年</th>
<th>2026年</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>主な施設の運用開始</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>

| 新国内線エリア増築・改修 | | | | | | | | |
| 本館3F国際線到着動線の増築 | | | | | | | | |
| 税関エリアレイアウト変更（CIQ） | | | | | | | | |
| 2F国際線出発フロア（商業エリア）新設 | | | | | | | | |
| 2F一般エリア商業の新設 | | | | | | | | |
| 3F中央出国審査場の新設（CIQ） | | | | | | | | |
| 4F保安検査場エリアの増築 | | | | | | | | |
| 3F国際線ラウンジエリアの新設 | | | | | | | | |
| 3F入国審査場の新設（CIQ） | | | | | | | | |
| 2F国際線出発フロア（商業エリア拡張）新設 | | | | | | | | |

### 設計・調整

Phase 1

Phase 2

Phase 3

Phase 4

### 大阪関西万博

・・・変更前のスケジュール

※2020年10月にスケジュール変更。
※今後の設計によって工事工程を変更する場合があります。
KIX 国際線キャパシティ拡大

T1リノベーションを中心に約4,000万人のターミナルキャパシティを創出

2018年度 国際線旅客数

ターミナル1

ターミナル2

ターミナル2 + ターミナル1

国際線 国際線キャパシティ